

木くぼり



No.
160

発行
'17 -9月号

今月の木 タイヒ

株式会社 ナガイ内
住まい教室 金谷教室

日本語表記：台檜 ヒノキ科 常緑針葉樹

タイヒは名前の通り、台湾版のヒノキとして扱われている木材で、台湾の中央山脈に分布し、日本に古くから輸入されています。樹高 40m、直径 3mに達し、耐久性と強さがあり、大きい材が必要な用途には需要があります。以前から日本での天然ヒノキの入手が難しく、その代替材として使われました。木材の特徴は心材が淡黄褐色、辺材は淡黄白色でヒノキ特有の強い芳香があります。材質は木曾ヒノキと比べやや硬く、少し赤みを帯びており、光沢がある為、銘木とされる事も多いようです。強度は全体的に中程度ですが、耐久性が極めて高いので、戦艦大和の甲板の材料として利用されたという実績があります。また、タイヒの精油からヒノキチオールが発見されました。残念ながら、日本のヒノキにはヒノキチオールはほとんど含まれていません。日本列島で、ヒノキチオールを含む主な樹木は「青森ヒバ」、「エゾヒバ」、「ネズコ」の三種類です。ヒノキチオールには優れた殺菌力や、抗菌力があることが、発見当時から分かっており、その効能には様々な方面から注目されました。タイヒや青森ヒバは耐水・耐久性に非常に富んでいる為、神社仏閣の建立や再建、補修に活躍しています。現在では伐採が禁じられていますが、昭和 46 年に再建された「明治神宮の大鳥居」に樹齢 2450 年、直径 3.5mのタイヒの巨木が使われました。



台湾版のヒノキ

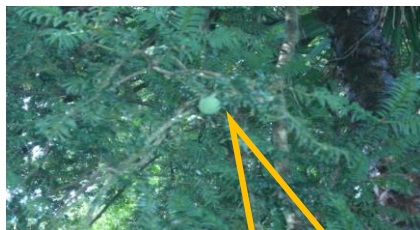


タイヒの巨木で造られた
明治神宮の大鳥居

島田市二軒家の「大カヤ」です。

静岡県指定天然記念物 指定 イチイ科 常緑高木

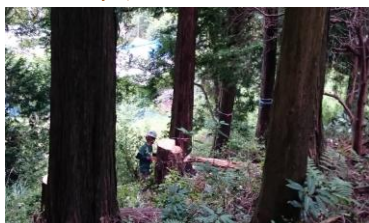
島田市二軒家にある県指定文化財天然記念物の「大カヤ」を見てきました。二軒家の大カヤは、昭和32年5月13日に静岡県指定文化財として認定され、樹齢1200年とも言われている巨木です。樹高は20.9m、目通しは5.5m、根回りは6.9mに達し、枝張りは東西に22.69m、南北に19mに達します。枝葉はよく茂り、下の枝葉は垂れて老木の雰囲気が出ています。是非一度見学に訪れてみませんか？



大カヤの実



K神社の檜（樹齢120年）を仕入れ、もうすぐ入ります。



樹齢約120年生の檜と杉を手に入れ、伐採中で、8月中に工場に入る予定です。太い木は胸高直径6尺（1m80cm）位あります。

焼津市Y様邸 玄関前にすだれをつけました。

海側からの強い日差しが玄関に入るのを、暑さを和らげるように「すだれ」をつけました。



展示棟見学 随時予約受付中！

展示棟見学のお問い合わせ・お申込みは下記までお願いします。

※メールでもOKです。(kk-nagai@po2.across.or.jp)

(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501